

令和5年度 第1回佐倉市廃棄物減量等推進審議会の意見について(回答)

番号	ご質問・ご意見	回答
1	拠点回収をしても、そこまで運んで行く人は、一部の気持ちのある市民だけに限られてしまうのではないかと思います。最終的にはステーション回収を目指すべきであり、その方が効率的ではないかと考えます。	今回は試験的な実施となります。今後につきましては、結果を踏まえて、様々な方向性から検討を進めてまいります。
2	拠点回収ボックスの設置個所について、地域に隔たりがありすぎるのではないかと思います。	ご意見を踏まえ、更に設置個所を増やすことを検討してまいります。
3	本件の製品プラスチックの拠点回収が狙いとする「目的」は何でしょうか。	令和4年4月に施行されました、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」第一条における「生活環境の保全及び国民経済の健全な発展に寄与する」という目的に則して製品プラスチックのリサイクルを進めてまいります。
4	「目的」を達成した場合に期待される「効果」は試算済みでしょうか。	試験的な実施となりますので、数値的な「効果」については、実際の回収量等を踏まえた上で、試算することとなります。
5	受入先のリサイクル業者においてはどのような工程でリサイクルするのでしょうか。	搬入後、破碎・粉碎し、再生フレークを精製し、それを溶解・固化させることにより、再生インゴット・再生ペレットに分け、プラスチック成形されます。主には、パレットや再生CD、DVD、梱包材や各種プラスチックカバー等に成形されます。
6	今後、12品目以外の材質の製品プラスチックの回収の予定はあるのでしょうか。	回収実績を踏まえて、リサイクル可能な品目について増やしていくことを考えております。
7	今まで焼却するしかなかったものが再生出来る事は良いことだと思います。資源にも限りがあるので、今は費用がかかるかもしれませんが、長いスパンでさらに地球規模で考えると損はしないと思います。まずは3カ月やり、不都合あれば改善していくのが良いと思います。	事業を実施していく中で、得られたデータや課題等を整理し、より良い効果が得られるよう改善してまいります。

番号	ご質問・ご意見	回答
8	12品目ということですが、今後品目を増やしていく予定はあるのですか。	回収実績を踏まえて、リサイクル可能な品目について増やしていくことを考えております。
9	回収したプラスチックについて、サーマルリサイクルは考えていないということで良いでしょうか。	基本的に、新たなプラスチック製品へのリサイクルを想定しております。
10	神奈川県座間市において、4品目に限って製品プラスチックのリサイクルを進めていますが、佐倉市では、他県の事例を参考にされているのでしょうか。	今回は、千葉県内における先進事例である、千葉市と東金市を参考にしております。
11	衣装ケースを入れられると、回収ボックスがすぐいっぱいになってしまうのではないのでしょうか。	臨時回収にて対応いたします。
12	地域の限られた回収ボックスですと、持っていく市民にメリットがなくなり、浸透しないのではないのでしょうか。	メリットについては、例えば衣装ケースについて、粗大ごみとして自宅前に出す場合500円以上の処理券代がかかるものが、回収拠点に持参すれば無料になるということがあげられます。
13	回収ボックスの大きさが小さすぎるのではないのでしょうか。	回収ボックスを設置する施設のスペースの問題がありまして、このようなサイズとさせていただきます。より大きなサイズの回収ボックスを置けるよう、施設と協議を進めてまいります。
14	市民に浸透させるためにどのような啓発や行動を起こされるのでしょうか。	広報紙、ホームページまたは佐倉市広報番組等を活用し、周知や啓発をしてまいります。
15	拠点回収個所から遠い市民について、近くでも拠点回収をして欲しいとの依頼がくるのではないのでしょうか。	将来的に設置する施設を増やすことを検討してまいります